

ベトナム EC 市場が 25 億ドル突破、成長と課題が交錯

2025 年 4 月 21 日 作成

カテゴリー ベトナムビジネスマッチング・販路開拓 EC

ベトナム EC 市場が 25 億ドル突破、成長と課題が交錯

ベトナム商工省の報告によれば、2024 年のベトナム電子商取引（EC）市場は前年より 20%増加し、規模は 25 億ドルを超えた。これは Google などが予測していた 22 億ドルを上回り、東南アジアではインドネシア、タイに次ぐ第 3 位となる。主要 5 大 EC プラットフォーム（Shopee、Lazada、TikTok Shop、Tiki、Sendo）の取扱高は 127 億ドルで、国内小売売上高の 6.5%を占めた。

2025 年第 1 四半期には、Shopee が市場シェア 64%で売上高 59 兆ドンを記録し、前年比 25%増を達成。一方で TikTok Shop は売上 32 兆ドンでシェアを大きく伸ばし、前年比 2 倍の成長となった。Lazada は業績が低迷し、売上は 3 兆ドンで 47%減となった。

一方、米国によるベトナム製品への 46%の報復関税は、輸出企業に深刻な影響を与える懸念がある。ベトナム政府はこの施行の 45 日間延期を要請している。税制変更に加え、EC 事業者は手数料調整、プロモーションの削減、違反店舗の取り締まりなど、運営上の変更も求められており、市場競争は激化している。

こうした状況下で、企業は消費者動向と市場変化を敏感に察知し、柔軟な価格戦略、商品最適化、マルチチャネル展開によるリスク分散、カスタマーサービスの向上が求められる。また、AI などのテクノロジーを活用した個別提案や物流の最適化も競争力強化に直結する。2025 年の EC 市場は 45 億ドルに達するとの見通しがあり、今後の成長を左右するのは対応力と技術投資である。

以上